

令和 8 年度 「 古典研究 」 シラバス

教科	国語	科目	国語科 古典	単位数	2
学級	2年次	教材・副教材	古典探求（文英堂）		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に表現する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力	伊勢物語	初冠	『伊勢物語』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
	5			中間考査		
	6 7	主体的に学習に取り組む態度	徒然草	あだしの露 期末考査	『徒然草』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力	大和物語	姨捨	『大和物語』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
	10			中間考査		
	11 12	主体的に学習に取り組む態度	更級日記	源氏の五十余巻 期末考査	『更級日記』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	主体的に学習に取り組む態度	平家物語	忠度の都落ち 学年末考査	『平家物語』の文法・古典単語を理解して、読解を通し自分の考えを持ち、発表できる	授業態度 授業ノート 小テスト

令和8年度 「古典探究」シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2
学級	2 学年	教材・副教材	「古典探究」(文英堂)、「改訂三版 完全マスター 古典文法」(第一学習社)、「新訂 国語図説六訂版」(株式会社 啓隆社)		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能	文法	用言の復習	○1年生の文法事項のおさらい、定着のため復習を行う。	○小テスト ○レポート ○課題レポート ・プレゼンテーション ・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート (演習含む)
	5	知識・技能 思考・判断・表現	説話	『十訓抄』 「大江山」 中間考査	○登場人物と出来事を把握する。 ○「大江山」の歌に用いられている修辞を把握する。	
	6 7	知識・技能 思考・判断・表現	歌物語 故事成語	『伊勢物語』 「梓弓」 「朝三暮四」 期末考査	○『伊勢物語』についての知識を復習し、定着する。 ○歌物語への理解を深め、和歌を訳読、鑑賞する。 ○和歌に表現された人物の思いを把握し、それを踏まえて物語展開を理解する。 ○漢字・漢文・訓読の基本知識を整理する。 ○漢字・漢文・訓読について知識を得、短文を読んでもみる。	
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能 思考力・判断力・表現力	古典文法 随筆 史話	〈確認テスト〉 『方丈記』 「ゆく河の流れ」 『史記』 「鴻門之会」 中間考査	○文法事項に関するおさらいの確認テストを実施する。 ○『方丈記』、鴨長明について基礎知識を確認する。 ○本文の内容を読み取る。 ○『史記』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○登場人物の考え方・心情を理解する。 ○『史記』の文学的な表現を読み味わう。	○小テスト ○レポート ○課題レポート ・プレゼンテーション ・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート (演習含む)

	10	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	物語	『源氏物語』 「桐壺」	○『源氏物語』についての知識を整理する。 ○登場人物の言動と心情を読み取り、物語の構成を理解する。 ○引用されている古典や故事、描写の効果を理解する。	
	11	知識・技能 思考・判断・表現	故事成語	「漁父利」	○漢字・漢文・訓読の基本知識を整理する。 ○漢字・漢文・訓読について知識を得、短文を読んでもみる。	
	12			期末考査		
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	物語	『源氏物語』 「若紫」	○『源氏物語』についての知識を整理する。 ○登場人物の言動と心情を読み取り、物語の構成を理解する。 ○引用されている古典や故事、描写の効果を理解する。	○小テスト ○レポート ○課題レポート ・プレゼンテーション ・振り返りシート ・グループワーク ・授業ノート (演習含む)
	2					
	3		思想	『論語』	○疑問・限定・比況・反語の句法を中心に訓読の基礎事項を蓄積する。 ○『論語』についての知識を整理する。 ○孔子の学問・人生・人間・社会に対する考え方を理解する。	
				学年末考査		

令和8年度 「精選国語」 シラバス

教科	国語	科目	精選国語	単位数	3
学級	A～S	教材・副教材	論理国語（大修館書店） 文学国語（数研出版） 新訂 国語図説〔六訂版〕（京都書房） 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級（桐原書店） 特化型小論文チャレンジノート要約編（第一学習社） 特化型小論文チャレンジノート志望理由・自己PR編（第一学習社） 読み解くための現代文単語（文栄堂）【B組のみ】		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力	言葉を定義する	対話の精神	・語の定義や対比を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・日本の文化の特徴をふまえて、対話についての理解を深める。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
	5	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	具体的・抽象的に書く	ミロのヴィーナス 中間考査	・比喩的な表現に注意し通つ、論の展開をとらえる。 ・筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。	
	6 7	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	大正の小説	山月記 期末考査	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察している。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	統計資料から分析したことを書く	家族化するペット	・統計資料や事例と筆者の主張との関係をとらえる。 ・社会構造の変化が、思考・感情に影響を与えることについて考えを深める。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
	10	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	情報を集めて分類する	敬語への自覚、他者への自覚 中間考査	・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。	

	1 1 1 2	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	明治の小説	こころ 期末考査	・人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力	図版を分析して書く	スキーマと記憶 学年末考査	・実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 ・記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。	提出物 授業内発表 小テスト 定期考査 レポート

令和8年度 公民科 公共

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	公共 (第一学習社)	副教材等	公共ノート (第一学習社)

2 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	【観点の到達目標】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	【観点の到達目標】 よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新しい言葉を習得し、日常生活の中で使うことができる。 資料を読み取るだけでなく、自ら資料をまとめ、他者に説明できるようにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ・グループワークを通して課題を構想し、自分なりの解決方法を説明することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 他者の意見も尊重しながら考えを聞くことができ、自らの意見を形成することができる。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・授業プリント など	【評価の方法】 ・資料作成 ・授業内での記述、発表等 ・定期考査 など	【評価の方法】 ・振り返りシート ・課題 ・提出物 など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	【知・技】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解している。 【思・判・表】 生涯にわたって学習していくことの意義を考えることができる。選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働によって国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物

5	公共的な空間における基本的原理	【知・技】古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解している。 【思・判・表】選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを追究することができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
6	法的な主体となる私たち	【知・技】法やルールを定める時にはどのようなことに配慮する必要があるかを理解している。 【思・判・表】身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考えることができる。 【主】安全で豊かに生き、法をよりよいものにするための権利や、それを実現するための法・規範について意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
7	司法参加の意義	【知・技】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解している。 【思・判・表】なぜ裁判所が必要なのかを司法権の独立や裁判所のしくみ、最高裁判所の違憲審査権から考えることができる。 【主】司法参加の意義について意欲的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
9	政治的な主体となる私たち	【知・技】選挙の意義や課題、世論の形成や政党の役割を理解している。主権者である国民と国会・内閣の関係を理解している。 【思・判・表】地域社会の課題に、私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを考えることができる。 【主】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任について理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
10	国際社会と国家主権	【知・技】主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。 【思・判・表】領土問題の背景と現状について考察することができる。軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考える。 【主】国境や領土をめぐる諸課題についての解決方法を主体的に考え取り組んでいる。日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を意欲的に学んでいる。	ペーパーテスト レポート 製作物
11	雇用と労働問題	【知・技】労働者を守るための法や権利を理解している。経済の基本的なしくみを理解している。 【思・判・表】少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさをともに成り立たせるために必要なことは何か考えることができる。 【主】グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどのように考えていけばよいか意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
12	市場経済の機能と限界	【知・技】公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解している。経済における政府の関わり方や市場における需要と供給の関係について理解している。 【思・判・表】国民所得や景気変動を理解し、私たちが豊かに暮らすための指標について考えることができる。 【主】市場の失敗の例の一つである公害など身近な問題についても意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
1	財政の役割と社会保障	【知・技】財政や社会保障の意義やしくみについて理解している。 【思・判・表】少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを考えることができる。 【主】日本の財政の課題について意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
2	経済のグローバル化	【知・技】自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割を理解している。外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について理解している。 【思・判・表】経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきかを考えることができる。 【主】経済のグローバル化が日本経済にどのような影響をおよぼしているか理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知・技】地球環境問題や資源・エネルギー問題について理解している。 【思・判・表】地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について考えることができる。 【主】現代の諸課題を探究する活動を意欲的に行っている。	ペーパーテスト レポート 製作物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

古代ギリシアの哲学者アリストテレスが『人は社会的動物である』と言ったように、人は社会を作ることによって外敵から身を守り、効率的に生産物を作り、繁栄してきました。社会の一員となるにあたって、様々なものの見方、考え方を身に付け、諸問題について協力して解決方法を考察、構想していく自覚を持たなければなりません。まだ実感の沸かない話も多いかと思いますが、想像力を働かせ、自分の将来の生活をイメージしながら、周囲と協力することでより良い人生を送れるように学習に取り組んで下さい。

令和8年度 地理歴史科 「歴史総合」 シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科・2 学年 A～S 組
教科書	高等学校 歴史総合 (第一学習社)	副教材	歴史総合ノート

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	歴史の扉	歴史と私たち	<p>【知・技】私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>資・史料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思・判・表】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上の知識及び技能観点で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>【主】近代に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ペーパーテスト レポート 製作物
	4 5	近代化と私たち	18世紀のアジアの繁栄 産業革命と市民革命	<p>【知・技】18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。</p> <p>産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。</p> <p>【思・判・表】18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】結び付く世界と日本の開国に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ペーパーテスト レポート 製作物
	6 7	近代化と私たち	イギリスの繁栄と国民国家の拡大 アジア諸国の変貌と日本の開国 帝国主義の発展	<p>【知・技】18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思・判・表】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】国民国家と明治維新に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	ペーパーテスト レポート 製作物
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10 11	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会	<p>【知・技】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発</p>	ペーパーテスト レポート 製作物

				<p>達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>【思・判・表】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】国際秩序の変化や大衆化・第一次世界大戦と大衆社会に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	
	11 12	国際秩序の変化や大衆化と私たち	<p>経済危機と第二次世界大戦</p> <p>第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成</p>	<p>【知・技】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。</p> <p>第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思・判・表】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】経済危機と第二次世界大戦に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1 2	グローバル化と私たち	<p>冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭</p>	<p>【知・技】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。</p> <p>西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</p> <p>【思・判・表】地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】グローバル化への問い・冷戦と世界経済に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>
	2 3	グローバル化と私たち	<p>国際秩序の変容と21世紀の世界</p>	<p>【知・技】石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。</p> <p>【思・判・表】アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】世界秩序の変容と日本に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>
	3	グローバル化と私たち	<p>現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>【知・技】歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。</p> <p>【思・判・表】事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主】現代的な諸課題の形成と展望について、見通しを持って課題に取り組もうとし、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>レポート</p> <p>製作物</p>

令和 8 年度 「数学Ⅱ」シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4
学級	総合進学・一般理系クラス 一般文系選択者	教材・副教材	新編 数学Ⅱ (数研出版) 3 TRIAL 数学Ⅱ (数研出版)		

1 科目の目標

いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 式と証明	第1節 式と計算 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式と計算 5 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明 不等式の証明	・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解の方法を学ぶ。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，簡単な場合について計算方法を学ぶ。 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 ・実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明する。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
	5	第2章 複素数と方程式	第1節 複素数と2次不等式の解 1 複素数とその計算 2 2次方程式の解 3 解と係数の関係 4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式	・数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をする。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解する。 ・因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求め方を学ぶ。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
	6 7	第3章 図形と方程式	第1節 図形と方程式 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の関係	・座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表す。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表す。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察する。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
第2学期	9 10 11	第3章 図形と方程式	第2節 円 5 円の方程式 6 円と直線 7 2つの円 第3節 軌跡と領域 8 軌跡と方程式 9 不等式の表す領域	・座標平面上の直線や円を方程式で表す。 ・円と方程式の位置関係について考察する。 ・軌跡について理解し，簡単な場合について軌跡を求める。 ・簡単な場合について，不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりする。 ・数量と図形との関係などに着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察する。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

	12	第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数	第1節 三角関数 1 角の拡張 2 三角関数 3 三角関数のグラフ 4 三角関数の性質 5 三角関数を含む方程式、不等式 第2節 加法定理 6 加法定理 7 加法定理の応用 第1節 指数関数 1 指数の拡張 2 指数関数 第2節 対数関数 3 対数とその性質 4 対数関数 5 常用対数	<ul style="list-style-type: none"> 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について学ぶ。 三角関数の値の変化やグラフの特徴について学ぶ。 三角関数の相互法則や加法定理、2倍角の公式、三角関数の合成などを学ぶ。 三角関数の加法定理から新たな性質を導き方を考察する。 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察する。 <ul style="list-style-type: none"> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算の仕方を学ぶ。 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、様々な問題に活用する。 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算の仕方を学ぶ。 対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 提出物 授業内発表など <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 提出物 授業内発表など
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1 2 3	第6章 微分・積分	第1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数とその計算 3 接線の方程式 第2節 関数の値の変化 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の増減・グラフの応用 第3節 6 不定積分 7 定積分 8 定積分と面積	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 関数とその導関数との関係について考察することができる。 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト 提出物 授業内発表など

令和8年度 数学科 数学 B

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	新編数学 B (数研出版)	副教材等	3TRIAL (数研出版)

2 科目の目標

数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7 9	第1章 数列	<p>【知・技】数列の基礎的な概念と知識を理解している。等差数列、等比数列など、簡単な数列について一般項や第n項までの和について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる。</p> <p>【思・判・表】記号Σ, 階差数列やいろいろな数列, 漸化式, 数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる</p> <p>【主】数の並び方に興味をもち, その規則性を発見しようとする意欲がある。数列の和を工夫して求める方法に興味をもち, 数列の和の公式を導こうとする意欲がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
10 11 12 1 2 3	第2章 統計的な推測	<p>【知・技】確率変数の期待値, 分散, 標準偏差を求めることができる。反復試行の結果を, 二項分布を用いて表すことができる。標準正規分布表を用いて, 正規分布に関する確率の計算ができる。</p> <p>【思・判・表】確率変数の期待値, 分散, 標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。具体的な事象を二項分布として捉え, 考察することができる。正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。</p> <p>【主】確率変数の期待値, 分散に関する種々の公式を, その定義や既知の公式を用いて導こうとする。二項分布に従う確率変数の期待値, 分散, 標準偏差の公式について, 確率分布の定義から導こうとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち, 様々なデータについて考察しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業中はその内容を理解することに集中してください。もしもわからないことが出てきた場合には, そのままにせず, すぐに自分で教科書を読んだり, 人に聞いたりすることで解決してください。1つわからないことがあると, それが原因で多くの内容がわからなくなってしまう。
- ・授業だけでは問題を解く時間を十分にとれないことがあります。そのため, 家庭での予習と復習によって問題を解く時間を十分にとってください。
- ・授業開始時には, 教科書・プリントファイル・問題集を準備し着席完了しておいてください。
- ・欠席した場合は, その分のノートを級友から借りるなどして次の時間までに学習しておいてください。
- ・授業で学習した内容について副教材(問題集)を積極的に利用し, 演習を重ねておくことが大切です。
- ・提出物等の期限は厳守でお願いします。内容もしっかり行ってください。

令和 8 年度 「地学基礎」シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2 単位
学級	2 年 A～I 組	教材・副教材	高等学校 改訂 地学基礎 (第一学習社) ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)		

1 科目の目標

地球科学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 1 学期	4	第 4 章 『宇宙と地球』 第 1 節：宇宙と太陽の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の始まり ・太陽の誕生 ・太陽の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球や惑星の運動，太陽系の構成について興味を持ち，観察や実験を行いながら積極的に学習しようとする。【知】【主】 ・宇宙が膨張していることを，モデルを使って確かめることができる。【思・判・表】 ・星までの距離や星の性質などの知識を身につけ，星の構造や進化，宇宙の構造や成り立ちなどについて理解できる。【知】 ・太陽が恒星の一つであることが把握でき，太陽の性質と太陽表面で起こっている現象について考え，それを表現できる。【知】【思・判・表】 ・太陽系の誕生と生命を生み出す地球の特徴を理解できる。【知】 ・太陽系とそれを構成する惑星についての知識を身につけ，地球と太陽系の運動について理解できる。【知】【思・判・表】 	レポート課題 レポート発表 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	5				
	6	第 5 章 『生物変遷と地球環境』 第 1 節：地層と化石	<ul style="list-style-type: none"> ・化石と地質時代 ・先カンブリア時代 ・古生代 ・中生代 	<ul style="list-style-type: none"> ・地形や地層，化石の観察方法を習得し，観察結果に基づき，土地の成り立ちや環境についての推論を行うことができる。【思・判・表】 ・地球の歴史に関心を持ち，積極的に調べようとする。【知】【主】 ・時代を経るごとに生物が多様化し，環境に適応してきたかを考えることができ，生命の大切さについても判断できる。【知】【主】 ・地球の表面に生きる生物が，地球の変化と密接な関連を持ちながら進化してきたことが分かる。【知】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
7	第 2 節：地球と生物の変遷				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 2 学期	9	第 2 節：地球と生物の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・(中生代) ・新生代 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代を経るごとに生物が多様化し，環境に適応してきたかを考えることができ，生命の大切さについても判断できる。【知】【主】 ・地球の表面に生きる生物が，地球の変化と密接な関連を持ちながら進化してきたことが分かる。【知】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	10	第 1 章 『地球のすがた』 第 1 節：地球の概観 第 2 節：プレートの運動	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の内部構造 ・プレートの分布とプレート境界 ・地殻変動 ・大地形の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の形と大きさについて，どのような方法で調べたのか，また，実際の形や大きさに興味を持って意欲的に学習しようとする。【知】【主】 ・地殻を作る物質に関心を持ち，どのような物質から構成されているかを探究的に学習しようとする。【主】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	11	第 2 章『地球の活動』 第 1 節：地震	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の発生と分布 ・地震波の伝わり方 ・火山の分布 ・火山の形成とマグマ ・火山の噴火と地形 ・火成岩の種類と形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球内部のエネルギーの放出現象として，火山や地震に興味を持ち，原因・災害などについて探究的に調べようとする。【思・判・表】【主】 ・プレートの運動により，地震や火山，現在の大地形などが形成されていると考えることができる。【思・判・表】 ・地球内部の構造について認識できるとともに，地球表層や地球内部の運動について原理も含めて理解できる。【知】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
12	第 2 節：火山活動				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 3 学期	1	第 3 章 『大気と海洋』 第 1 節：地球のエネルギー収支 第 2 節：大気と海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の特徴と特徴 ・対流圏における水の変化 ・太陽放射と地球放射 ・大気の循環 ・海洋の循環 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模で発生している環境問題に関心を持つ。【主】 ・大気を知り，探究的に学習しようとする。【知】【主】 ・大気の組成について身につけるとともに，太陽放射のエネルギーと大気の循環のうち，鉛直方向の循環が雲や雨などの気象現象の原因であることが理解できる。【知】【思・判・表】 ・大気の水平方向の循環について把握し，高緯度から低緯度への熱の輸送が行われていること，毎日の天気の変化など日常生活と密接に関連していることが分かる。【知】【思・判・表】 ・地球をめぐる大気の運動により天気の変化が引き起こされることについて，意欲的に学習する。【知】【主】 ・自然災害の予測や防災について積極的に探究することができる。【主】 	レポート課題 授業プリント 授業ノート 授業態度 定期考査
	2				
	3				

令和8年度 「理科 生物 (2単位)」 シラバス

教科	理科	科目	生物	単位数	2単位
学級	3年B、C組	教材・副教材	教科書：高等学校生物（第一学習社） 副教材：セミナー生物（第一学習社）		

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことで、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	第6章 遺伝子の発現調節と発生	1. 遺伝子の発現調節 2. 発生と遺伝子の発現	ウニ・ショウジョウバエ・カエルの受精や発生メカニズムについて理解する。 真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。 原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
	6 7	第7章 遺伝子を扱う技術とその応用	1. 遺伝子の扱う技術 2. 遺伝子を扱う技術の応用	遺伝子の構造や発現を解析する方法、遺伝子の機能を解析する方法を理解する。	
第2学期	9 10	第8章 動物の反応と行動	1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動	動物は受容器で刺激を受容し、中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで、刺激に対して反応していることを理解する。ニューロンの基本構造を学び、ヒトの神経系の構成について理解する。静止電位と活動電位が生じるしくみを、チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解する。生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから考察する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
	11 12	第9章 植物の成長と環境応答	1. 植物と環境 2. 植物の一生と植物ホルモン	被子植物の配偶子形成と重複受精について学び、被子植物の胚発生の過程を理解する。植物の環境応答について理解する。	
第3学期	1	第10章 生態系のしくみと人間の関わり	1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と消費 3. 生態系と人間生活	個体群と相互作用について理解する。・ニッチの概念を理解する。生態系における物質生産について理解する。生物多様性の3つのとらえ方を理解する。層別刈取法によって生産構造を調べ、生産構造図を考察する。物質収支に関する資料にもとづいて、捕食-被食の関係に伴うエネルギーの流れを考察する。化学肥料の使用による植物プランクトン量の変化などの資料にもとづいて、化学肥料が生態系にどのような影響を与えるかを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none">・ 知識技能…定期テスト（小テスト）・ 思考判断表現…定期テスト（小テスト）、レポート、課題・ 主体的に学習に取り組む態度…コメントシート、提出物

5 担当者からのメッセージ

<ol style="list-style-type: none">①理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組みましょう。②プリントを管理するためのファイルを用意して下さい。③課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかりましょう。④実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意してください。

令和 8 年度 理科 「 化学 」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年次 B・C組
教科書	化学 704 「化学」 実教出版	副教材	「アクセスノート化学」 実教出版

1 科目の目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	物質の状態と平衡	状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	5		固体の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶構造について、基本的な知識を身につけており結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 	
	6		気体の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
7		溶液	<ul style="list-style-type: none"> ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。溶解度の定義や法則を理解している。沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身につけている。 		

				<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。溶解度について理解し、計算することができる。沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	物質の変化と平衡	化学反応と熱・光エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応と熱・光エネルギーの関係について、基本的概念を理解している。 ・化学反応と熱・光エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	10		電池と電気分解	<ul style="list-style-type: none"> ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。 	
	11		反応の速さとしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
		無機物質	周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・周期表における各元素の配置、性質を理解している。 ・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。 	

	2		非金属元素	<ul style="list-style-type: none"> ・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 	
	3		金属元素	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・有機化合物の特徴と分類、構造決定について理解している。 	

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年B、C 選択者
教科書	第一学習社 高等学校 物理基礎	副教材等	第一学習社 プロGRESS物理基礎 改訂版

1 学習の到達目標

<p>1 身近な現象や社会との関わりの中で物理現象への興味関心を高める。 2 学習した概念や法則をもとに身近な現象を解釈し、基本的な問題が解けるようになる。 3 実験、観察を通して物理的概念や法則の理解を深める。 4 実験、観察の技能を習得する。</p>

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第I章 運動とエネルギー	第1節 物体の運動 1 速度 2 加速度 3 落体の運動	身近な物体の運動と力の関係について概略を知る。 位置、変位、速度、加速度、移動距離、速さ、相対速度、などといった物理量を理解する。 等加速度運動の関係式を用いて、各諸量を求める。 落下する物体の運動状態を求める。 (自由落下、鉛直投射、水平投射、斜方投射)	ワークシート 実験への態度 定期考査
			中間考査		
	6	第I章 運動とエネルギー	第2節 力と運動の法則 1 さまざまな力 2 力の合成・分解とつりあい 3 運動の3法則 4 運動方程式の利用 5 摩擦を受ける運動	いろいろな力(重力、垂直抗力、摩擦力、張力、弾性力)について学び、それぞれの力の矢印が図示できるようにする。 力の合成・分解について学ぶ。 2力、3力のつり合いについて学ぶ。 運動方程式の立て方を学び、物体の運動を記述できるようになる。 静止摩擦力とその最大値である最大摩擦力と動摩擦力を学ぶ。	ワークシート 実験への態度 定期考査
第2学期	9	第I章 運動とエネルギー	第2節 力と運動の法則 6 液体や気体から受ける力	圧力や浮力、空気の抵抗、終端速度について学ぶ。 仕事の原理や仕事と仕事率及び速度との関係を学ぶ。 運動エネルギーの式を学ぶ。 運動エネルギーの変化が物体にされた仕事に等しいことを学ぶ。 重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーについて学ぶ。 保存力について学ぶ。 力学的エネルギー保存則について学ぶ。 保存力以外の力が仕事をする場合の力学的エネルギーの変化と仕事の関係について学ぶ。	ワークシート 実験への態度 定期考査
	10		第3節 仕事と力学的エネルギー 1 仕事と仕事率 2 運動エネルギー 3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存		
第2学期			中間考査		
	11	第II章 熱	第1節 熱とエネルギー 1 熱と温度 2 エネルギーの変換と保存	熱や温度の概要を学ぶ。 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量について学ぶ。 熱量保存の法則について学ぶ 物質の三態や熱膨張について学ぶ。 ジュールの実験について学ぶ 熱力学の第一法則について学ぶ。 (実験) 圧気発火 不可逆変化について学ぶ。 熱機関と熱効率について学ぶ。	ワークシート 実験への態度 定期考査
	12	第III章 波動	第1節 波の性質 1 波の表し方と波の要素	波とは何か、波の発生と伝わり方について学ぶ。 波長や周期、振動数などの波の要素について学び、基本的な関係式を理解する。 ある場所での媒質の変位の時間的変化とある瞬間での各媒質の変位のグラフを理解する。 波には横波と縦波があることを知る。	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等

第3学期	1	第III章 波動	第1節 波の性質 1 波の重ね合わせと反射 2 波の干渉・反射・屈折・回折	波の重ね合わせと独立性について学ぶ。 反射の仕方、定常波のでき方について学ぶ。	ワークシート 実験への態度 定期考査
	2		第2節 音 1 音波の性質 2 物体の振動	身近な音の現象を知る。 音の伝わり方について学ぶ。 音の三要素や超音波の利用などについて学ぶ。 音も反射、屈折、回折、干渉といった現象を起こしながら伝わることを知る。 うなりについて学ぶ 弦の振動、気柱の振動について理解する。(クントの実験) 共鳴・共振について理解する。 帯電のしくみについて理解する。 箔検電器の動きを自由電子のイメージから予測することができる。	
	3	第IV章 電気	第1節 静電気と電流 1 静電気 2 電流と抵抗 3 電気エネルギー 第2節 電流と磁場 1 磁場 3 交流と電磁波	帯電のしくみについて理解する。 箔検電器の動きを自由電子のイメージから予測することができる。 オームの法則について理解する。 直列と並列の抵抗の接続について理解する。 ジュール熱や電力について理解する。 交流発生の仕組みと電圧や電流の最大値と実効値の関係、変圧器について理解する。 電磁波の種類や用途を理解する。	
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能 … 定期テスト(小テスト) ・思考判断表現 … 定期テスト(小テスト)、ワークシート、実験に関する考え方、レポート ・主体的に学習に取り組む態度 … ワークシート、実験、レポート、考査の振り返り

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>物理で大切なことは、学習していることと日常生活の現象を結びつけることです。そのために、公式等を暗記するのではなく事象・現象への理解を図るようにしましょう。練習問題などで基礎を固めながら授業に望むようにしましょう。</p>

令和 8 年度 保健体育科 保健

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資 質・能力を次のとおり育成する。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 学習内容について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 学習内容に対して、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・定期考査 ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、判断力・表現力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。 日常的なケガの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

	手当		
5	<ul style="list-style-type: none"> 心肺蘇生法 ライフステージと健康 思春期と健康 	<p>心肺蘇生法の手順と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。訓練用人形を使用し、心肺蘇生法を実際におこない、技能を身につける。</p> <p>思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
6	<ul style="list-style-type: none"> 性意識と行動の選択 妊娠、出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 	<p>性意識の男女差、制に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて説明することができる。</p> <p>妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。</p> <p>家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
7	<ul style="list-style-type: none"> 結婚生活と健康 中高年期と健康 	<p>心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。</p> <p>加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
9	<ul style="list-style-type: none"> 働くことと健康 労働災害と健康 	<p>働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。</p> <p>労働災害及び労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
10	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な職業生活 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 	<p>職場が行う健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。</p> <p>大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。</p> <p>大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。</p> <p>ゴミの処理の現状とその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査
11	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 	<p>食品の安全性と健康とのかかわりや、今日的課題について説明することができる。</p> <p>食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ワークシート 定期考査

12	<ul style="list-style-type: none"> ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 	<p>保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について理解し、説明することができる。</p> <p>医療保険のしくみ、医療機関の役割について理解し、説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
1	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の制度とその活用 	<p>医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて例を挙げて説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
2	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 	<p>民間機関や国際機関などの保護活動について理解し、説明することができる。</p> <p>健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

アドバイス

・授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないう積極的に活動することが大切です。

守ってほしい事項

・教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

・欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育科 体育

1 科目について

単位数	3単位	学科・学年	2年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを旨とする。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指して、主に、身に付けた技能や動き等をより高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルールを次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできる。また、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などに加え、各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方の理解をもとに運動の技能を身に付けたり、一層その理解を深めたりすることができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己の課題に応じた運動の取り組み方を発展的にし、多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続するために、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要となる課題を解決することができる。</p>	<p>【観点の到達目標】 運動を継続することは、健康の保持増進に役立つとともに、人生を豊かにするといった運動を継続することの意義などを理解し、各領域において練習や試合、発表などに意欲を持って主体的に取り組める。学習への責任や参画への意欲といったものを土台とし、仲間やチームに対して、役割を積極的に引き受けたり、話し合いを通して合意形成に貢献しようとするなどに主体的に取り組める。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高め、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。運動の技能を身に付けることについて、経験に基づく知恵などの暗黙知をも含め、一層その理解を深めたりするなど、知識と技能を関連させて言ったり書き出したりしている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 選択した運動の中から、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することについて、自らの課題に加えて仲間やチームの課題にも視野を広げるとともに、運動を継続するために必要な課題を見付けている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A</p>

十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	おおむね満足できる B 努力を要する C
--------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、判断力・表現力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	ガイダンス 体育理論 体づくり運動	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
5	武道・ダンス 球技 (バスケットボール)	【知・技】・運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
6	器械運動 (跳び箱) 陸上競技 (投擲・幅跳び)	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
7	水泳	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。	・行動観察 ・ワークシート
9	武道・ダンス	【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・スキルテスト
10	器械運動 (跳び箱)	【知・技】・運動の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。	・行動観察 ・ワークシート
11	陸上競技 (投擲・幅跳び) 球技 (テニス・バスケットボール)	【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・スキルテスト
12 1 2	陸上競技 (長距離走)	【知・技】・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト

3	球技(サッカー・バドミントン) 武道・ダンス	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に対して、自主的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・スキルテスト
---	---------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

アドバイス

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

守ってほしい事項

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかり行うこと。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2・3年次
教科書	副教材等		Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を發揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に發揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 から 3 月	サッカー	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本練習 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・サッカーのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した身体の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をチームでの攻防の際に実践する。【知・技】 ・シュートパスやロングパスを使ったオープン攻撃や中央突破の攻撃、スリーバック型やフォーバック型での防御ができるようにする。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4 月 から 3 月	ソフトボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・競技のルールや用語を理解する。【知・技】 ・グローブやバットの操作、安定した用具の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用練習 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人やチームの長を活かして作戦を立て、実践の場面を想定しながらの練習を行う。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、試合を適切に運営すること。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

4 月 か ら 3 月	バスケットボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・バスケットボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパスやドリブルの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・レイアップシュートを左右正しく出来ることを身につけ、セットシュートを正しいフォームでおこなう知識を身につけておこなうようにする。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用練習 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【思・判・表】 ・1対1に必要なボールのもらい方を理解して、1対1の技能を身につけること。【知・技】 ・アウトナンバーの攻め方を身につけること。【知・技】 ・1対1から5対5までをオールコートで簡易ゲームをおこない、フロアバランスやスペース、シュートセレクトを考えながら、技能を身につけること。【思・判・表】 <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動作をもとに、場面に応じた技能を選択し実施すること。【知・技】 ・チームの作戦を立て、マンツーマンディフェンスとゾーンディフェンスのやり方を理解する。【思・判・表】 <p>・ルールを正しく理解し、公正・安全に試合を運営すること。【知・技】</p>	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4 月 か ら 3 月	バレーボール	<p>学習内容(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・バレーボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパス、サーブ、スパイクなどの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームでおこなう知識を身につける。【思・判・表】 <p>学習内容(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用練習 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をフォーメーションの中で実践する。【思・判・表】 サーブレシーブフォーメーション アタックレシーブフォーメーション ブロックフォローフォーメーション アタックコンビネーションフォロー <p>学習内容(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・試合形式 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけるこ

と。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ概論

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書	なし	副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

<p>スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】 ・定期テスト ・ワークシート分析 ・発表 ・レポート</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・定期テスト ・ワークシート分析 ・レポート ・発表</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・レポート ・発表 ・ワークシート分析 ・行動観察</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

<p>知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。</p>

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	単元名 スポーツの効果的な学習のしかた	(内容) 骨格・筋肉の名称・構造 運動技能の構造・運動技能の上達 体力について 技術や戦術を実践する際に、それらを支える体力や筋肉について理解を深める。【知・技】 自分の専門種目の技術や戦術を実践する際に、それらを支える体力についてレポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】	定期テスト【知・技】 レポートの内容の分析【思・判・表】 行動観察【主】
9 ～ 12	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴を理解する。【知・技】 自分の専門種目の歴史、文化的特性を調べ、レポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】(内容) スポーツの楽しみ方に応じた練習法 スポーツの楽しみ方に応じた練習法について理解を深める。【知・技】 自分の専門種目のスポーツの楽しみ方に応じた練習方法をについてレポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】	レポートの内容の分析【思・判・表】【知・技】 行動観察【主】
1 ～ 3	スポーツの指導法と安全	(内容) 運動障害とその予防を理解を深める。【知・技】 自分の専門種目の運動障害とその予防方法をレポートにまとめる。【思・判・表】 積極的にレポートに取り組んでいる。【主】 (内容) 運動時に起こる傷害や、種目ごとの障害の特性について理解する。【知・技】 ・内科的疾患と対策(急性・慢性) ・外傷、傷害(体幹・上肢) ・外傷、傷害(下肢、種目による特性)	レポートの内容の分析【思・判・表】【知・技】 行動観察【主】

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の競技生活を振り返り、健康の保持増進を図るためや競技力向上のための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。レポートを中心に調べ学習を中心に進めます。積極的に活動することが大切です。

令和 8 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 生涯スポーツ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	普通科体育コース2・3 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>	<p>【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 から 7	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・ガイダンス ・基本練習	種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。 【知・技】バードゴルフ用のボールやプラスチック製のボールを利用して、ゴルフのスタンスやスイング等の動きを理解し、習得する。 【思・判・表】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主】バードゴルフに主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9 から 12	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・個人技能 ・簡易ゲーム	種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。 【思・判・表】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【知・技】生涯スポーツの種目として、「ゴルフ」を取り上げ、種目の基本的な特性を理解する。バードゴルフ用のボールやプラスチック製のボールを利用して、ゴルフのスタンスやスイング等の動きを理解し、習得する。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 【主】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1 から 3	生涯スポーツ 【ゴルフ】 【バドミントン】 【卓球】 【その他種目】 ・基礎練習 ・応用練習 ・簡易試合	種目として「バドミントン」「卓球」を取り上げ、競技の進め方や競技規則を正しく理解し、安全公正に試合を行うこと。 【知・技】技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思・判・表】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

- ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髪などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。
- ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)
- ・貴重品の管理をしっかり行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2年次
教科書	なし	副教材等	

1 科目の目標

クラフト（工芸）の意味を理解し、生活の中のデザインへの関心を高める。
デザインの発想力と表現力の向上。技術の向上。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期		・名画手拭い	・名画を選び手拭いに描く。	・名画を写していく。 ・手拭いの布をボール紙に伸ばしてはる。	・意欲的に名画を選んだか。 ・布は綺麗に張れたか。
				・布がきペン、彩色ペンで名画に近づく様に描く。	・名画をよく見て、近づこうと努力したか、また、どの位近づけたか。
第2学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期		・バックルとベルト A ・革財布 B	A か B を選択してデザインする。	A・バックルを削って B・財布の革を裁断していく。 ・バックルを磨く ・革を染める。	・どちらもそれぞれの工程を綺麗にできたか。
				A・革を染める、こば、B・革を塗っていき、表、裏を磨いていく。こば、表、裏を磨いていく。	・革の処理（こば、表、裏）は丁寧にできたか。
第3学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		・上絵による器	・マグカップかどんぶりを選んで加飾する。	・上絵シート、上絵絵具どちらも加飾できるが、自分のデザインにあった方法で加飾する。	・上絵シートは綺麗にきってはれたか。 ・上絵絵具は綺麗に描けたか。

令和 8 年度 芸術 科 「 工芸Ⅱ 」 シラバス

単位数	単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科科 2年次
教科書	教科書	工芸Ⅱ 日本文教出版	副教材等	

1 科目の目標

1年次で学んだ事を元にさらに技術を高めた、生活の中で生きる工芸について、思考を深める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期		・合板によるハンガー	・板を切り、削り磨き、加飾してハンガーを造る。	・軽い合板をのこぎりできり、木工ボンドで接着し、ベルトサンダーで削って形を整える。	・のこぎりの使い方 ・ベルトサンダーの使い方。
				・ウッドシートや焼きペン（デザインにより）で加飾する。	・加飾の丁寧さを総合的に評価する。
第2学期		・アルミボウルを造る	・2mmのアルミニウムでボウルを造る	・金属の延展性を生かし、2mmのアルミニウムの板を丸く切り叩いて、ボウルにしていく。	・糸鋸の使い方 ・木槌の使い方 ・
				・切り口をデザインし、楽しい形にきっていく。	・形のデザイン ・切り口の処理。
第3学期		・アルミニウムでアイスクリームスプーンを造る。	・アルミニウムでアイスクリームスプーンを叩いて造る	・金属の延展性を生かし、こんどはスプーンにしていく。 ・1, 2年の集大成として、叩きから磨きまでを含んだ課題となっている。	・叩きから磨きまで2年間での位マスターしたか。

単位数	2	学科・学年・学級	2 年次
教科書	高校生の音楽Ⅱ(音楽の友社) コールユーブンゲン (大阪開成館) 新曲視唱(音楽之友社)	副教材	楽典(音楽之友社)

1 科目の目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・2度音程の歌い方 ・2～3度音程 (No. 1～5) ・花は咲く ・楽譜の正しい書き方 ・旋律聴音でクラス分け ・シンコーペーションの歌い方 ・四分音符、二分音符、四分休符を含んだ旋律聴音 ・八分音符や八分休符の入った楽譜の歌い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
第2学期	9 10 11 12	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・八分の三、八分の六拍子の曲の歌い方 ・4度音程 (No. 1～15) ・シンコーペーションを含んだ曲 ・付点音符の歌い方 ・三連符を含んだ旋律聴音 ・和声聴音(2声) ・5度音程の歌い方 ・臨時記号のある旋律聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
第3学期	1 2 3	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・6度音程の歌い方 ・増1度音程 (No. 1～10) ・民衆の歌 ・イ短調の旋律聴音 ・弱起の曲の歌い方 ・和声聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科・2年次
教科書	高校生の音楽2 (教育芸術社)	副教材	

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	音楽のいろいろ	鑑賞	教材 学習プリント	・学習プリント
		音楽の楽しみ	器楽演奏	教材「大きな古時計」	・器楽実技テスト
		5線記譜法 音程	楽典	聴音課題 教材 学習プリント ・音程の習得	・小テスト
		歌の楽しみ	歌唱表現	教材「夏は来ぬ」	・歌唱実技テスト
6 7	昔話と音楽	鑑賞	教材「はげ山の一夜」 ・物語から生まれる音楽 ・音楽の要素から表現方法を探り、深める	・学習プリント	
		音楽の力	鑑賞	教材「ボヘミアンラブソディ」	
第2学期	9 10 11	ドイツ語 歌曲	歌唱表現	教材「セレナード」「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の特徴を捉える	・歌唱実技テスト
		コードネーム 5線記譜法	楽典	教材 学習プリント ・コードネームを理解する 聴音課題	・小テスト
		日本各地の伝統芸能	鑑賞	教材 各地の芸能及び沖縄の伝統芸能 ・日本の伝統芸能を味わう ・各地の伝統芸能の特徴を理解する	・学習プリント
		サウンドロゴ	創作	教材 学習プリント ・身近なものを紹介する ・抑揚と旋律の関わり ・コードから旋律をつくる ・作品を完成させる	・学習プリント ・発表

	1 2	世界の音楽 5線記譜法	器楽演奏(ハンドベル) 楽典	教材「雨にぬれても」 ・楽曲に合う奏法、表現 聴音課題	・器楽実技テスト ・聴音実技テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	5線記譜法	楽典	聴音課題	・聴音実技テスト
	2	日本の歌	歌唱表現	教材「糸」 ・日本語の表現	・歌唱実技テスト
	3		鑑賞	教材「ローマの松」 ・曲の文化的、歴史的背景を理解する ・情景と音楽の関わりを知覚する	・学習プリント
		音楽で辿るローマの歴史 音楽の楽しみ	アンサンブル	教材「デスクドラミング」 ・音色の違い、音の重なりを感じる ・個性豊かな表現	・アンサンブル実技テスト

単位数	2	学科・学年・学級	2年次・3年次 自由選択α、X
教科書	楽典(音楽之友社)	副教材	

1 科目の目標

音楽理論の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	五線の名称 音部記号 変化記号 異名同音 音符と拍 音程	楽典	教材 学習プリント ・五線の名称 楽譜を構成する上で必要な五線の名称について学ぶ ・音名 音楽に使われる音の高さにつけられた名称を、日本語のほか複数の多言語で学ぶ ・音部記号 さまざまな音部記号を理解する 変化記号・異名同音 変化記号・異名同音について理解する ・音符と拍 音符・休符の名称や五線への書き込み方、拍と拍子について理解する ・音程 音と音のへだたりを表す単位や完全系の度数、長短系の度数を理解する	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト
第2学期	9 10 11 12	音階 調	楽典	教材 学習プリント ・音階と調 長音階、短音階、全24調の仕組み、同主調、平行調、属調、下属調について理解する	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト
第3学期	1 2 3	和音 コード	楽典	4種類の三和音、セブンスコードについて理解し、演奏を行う。	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト

単位数	2	学科・学年・学級	全学科・2年次 自由選択α、β
教科書	副教材のみ	副教材	バイエル(全音楽譜出版) ソナチネ(全音楽譜出版)

1 科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4 5 6 7	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表	
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 各楽器の課題曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9 10 11 12	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表	
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 自由曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト	
	学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	第3学期	1 2 3	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表

		器楽演奏	管弦打楽器	教材 エチュード ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・表現形態の特徴や表現上の効果を理解し、演奏の基礎的な能力を身につける	・実技テスト
--	--	------	-------	--------------------------------------------------------------------	--------

令和8年度 芸術科 「美術Ⅱ」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	2年次普通科文系、スポーツ科学科
教科書	光村図書 美術2	副教材	

1 科目の目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	あなたの「うつくしい！」を紹介する	・美術を学ぶ意義を理解したうえで、今後の授業でどのように取り組んでいくかや、大切にしていきたいことを考える。	ワークシート
	5 6 7	デザイン/表現 デザイン/鑑賞	カプセルトイの鑑賞 企画書作成 キャラクター制作 ミニブック制作 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・デザインするカプセルトイの企画書をつくる。 ・キャラクターを粘土で制作する。 ・ミニブックをキャンパで制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
第2学期	9 10 11 12	絵画/表現 絵画/鑑賞	パース・遠近法について 参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 下描き おつゆ描き 下塗り 本塗り 描きこみ 鑑賞会	・透視図法や遠近感について理解する。 ・参考作品を鑑賞する。 ・ブレインストーミングをしながら主題や構想、構図を練る。 ・キャンバスに下描きをする。 ・明暗を3色で捉える。 ・主題に合わせて下塗りする。 ・アクリル絵の具で着彩する。 ・自分の主題に合わせて用具を選択し、描きこむ。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
第3学期	1	デザイン/表現 デザイン/鑑賞	参考作品の鑑賞 明度分割の練習 明度分割・転写 着彩 コラージュ 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・明度分割について理解する。 ・明度分割を行い、カーボン紙で転写する。 ・アクリルガッシュで着彩する。 ・コラージュで背景を制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。	作品 振り返りシート まとめレポート

2 3	立体 /表現 立体 /鑑賞	参考作品の鑑賞 主題決め アイデアスケッチ 張子制作 鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を鑑賞する。 ・テーマに合わせて主題を決める。 ・構造や全体の雰囲気を考える。 ・新聞紙と和紙を重ねて張子を制作する。 ・作品の鑑賞会を行う。 	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
--------	------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------

令和 8 年度 芸術科 「書道Ⅱ」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第2学年
教科書	書道Ⅱ（東京書籍）	副教材	

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書の成立と変遷 篆書 <ol style="list-style-type: none"> 泰山刻石 石鼓文 甲骨文・金文 篆刻 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の特徴と変遷について理解する。 篆書とはどのような書体かを知り、歴史的な位置づけを理解する。 篆書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 篆書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 篆書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5				
	6		<ul style="list-style-type: none"> 隸書 <ol style="list-style-type: none"> 乙瑛碑 居延漢簡 石門頌 	<ul style="list-style-type: none"> 隸書とはどのような書体かを知り、歴史的な位置づけを理解する。 隸書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 隸書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 隸書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 草書 <ol style="list-style-type: none"> 十七帖 書譜 自叙帖 	<ul style="list-style-type: none"> 草書とはどのような書体かを知り、歴史的な位置づけを理解する。 草書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 草書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 草書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	10		<ul style="list-style-type: none"> 行書 <ol style="list-style-type: none"> 集王聖教序 顔真卿の三稿 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な行書の用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 行書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景な 	

				どに関する知的理解を深める。	
	11		<ul style="list-style-type: none"> ・楷書 ①薦季直表 ②爨宝子碑 ③始平公造像記・張猛龍碑 ④孟法師碑・樂毅論 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な楷書の用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・楷書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・楷書の古典を鑑賞し、作者や時代背景などに関する知的理解を深める。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	12		創作	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組む。 ・学習した古典、習得した技法を生かして作品を制作する。 	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書の成立 ・古筆の鑑賞と臨書 ①高野切第一種 ②本阿弥切本古今和歌集・関戸本古今和歌集 ③香紙切・針切 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷について理解する。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・古典に基づく用筆・運筆の表現技法を習得し、短冊や散らし書きなどの形式について理解を深める。 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	2				
	3	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の変遷 ・表現の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、仮名の古典をもとに、その表現を生かした漢字仮名交じりの書の作品を作る。 ・漢字と仮名の調和の方法を考え工夫し、自分の感性を表現する。 ・書の学習を生活の中のさまざまな場面で生かす工夫をする。 	

		活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。																			
		中間考査																	ペーパーテスト エッセーライティング		
6		(1) 聞くこと 水族館、およびコウテイペンギンについて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと コウテイペンギンの生態について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 水族館や海洋生物、およびコウテイペンギンについて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと [発表] 興味のある動物について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと 興味のある動物について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	〈聞くこと〉コウテイペンギンの関心がある点について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、現在完了形や助動詞を含む受動態、間接疑問文、現在完了進行形の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉関心のある動物について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉関心のある動物について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉関心のある動物について、情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	単元テスト ペーパーテスト ワークシート提出 プレゼンテーション ポocketsスピーキング	
7																					
		期末考査・答案指導																	ペーパーテスト エッセーライティング		
第2学期	9	(1) 聞くこと 学校の清掃活動、および日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと 新幹線の清掃スタッフについて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 学校の清掃活動、および日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと [発表] 日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと 日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle	〈聞くこと〉日本の誇れることについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、分詞の形容詞的用法や形式目的語 it+to 不定詞、形式目的語 it=that 節、(S+V+O+to 不定詞)の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉日本の誇れることについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝えあうやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉日本の誇れることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して、詳しく話して伝える。 〈書くこと〉日本の誇れることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	単元テスト ペーパーテスト ワークシート提出 プレゼンテーション ポocketsスピーキング
10																					
		中間考査																	ペーパーテスト エッセーライティング		
11		聞くこと 次世代に残したいもの、および興味・情熱のあるものについて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと 伝統野菜の種を商う高校生について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。	Lesson 4 Seeds for the Future	〈聞くこと〉自分の関心のあることや熱中していることについての対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉タネの保全のための活動と取り組みについて書かれた文章を読み、複合関係代名詞や(S+V+O+現在分詞)、完了形の受動態、(S+V+O+過去分詞)の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉自分の関心のあることや熱中していることについて、情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分の関心のあることや熱中していることについて、情報や自分の考えを論理性に注意して、詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分の関心のあることや熱中していること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	単元テスト ペーパーテスト ワークシート提出 プレゼンテーション ポocketsスピーキング

令和8年度 外国語科「論理・表現Ⅱ」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 第2学年 A組
教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression II (東京書籍)	副教材等	

1 学習の到達目標

- 一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、
1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。
 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。
 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発	書		
4	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりできる。	Unit 1 Lesson 1 友達に報告する	訂正する、心配する、感謝する	知 思 態	●	●	●	●	●	6	・授業内活動の観察
	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、驚きやその原因・理由を表現したり、発言や情報などを繰り返したり、言い換えたりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、驚きやその原因・理由を表現したり、発言や情報などを繰り返したり、言い換えたりできる。	Unit 1 Lesson 2 日本での初登校	驚く、繰り返す、言い換える	知 思 態	●	●	●	●	●	6	・授業内活動の観察
5	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、聞き手の注意を引いたり、同意を求めたりできる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、聞き手の注意を引いたり、同意を求めたりできる。	Unit 1 Lesson 3 経験についてのスピーチ	注意を引く、同意を求める	知 思 態	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
	*Writing 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、自分の望みを伝えたり、相手のすばらしいところを褒めたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	Unit 1 Lesson 4 日本での初登校	望む、褒める	知 思 態	●	●	●	●	○	3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
中間 考 査	中間考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）			知 思 態	●	●	●	●	●	0	
6	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を誘ったり、詳細を説明したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を誘ったり、詳細を説明したりできる。	Unit 1 Lesson 5 イベントに誘う	誘う、説明する	知 思 態	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察
	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手の発言などについて聞き直したり、相手に依頼したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手の発言などについて聞き直したり、相手に依頼したりできる。	Unit 1 Lesson 6 図書館で資料さがし	聞き直す、依頼する	知 思 態	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察
7	*Speaking-Interaction 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したりできる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したり、文意をわかりやすくするために言い換えたりできる。	Unit 1 Lesson 7 翻訳についてのスピーチ	要約する、言い換える	知 思 態	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト ・提出物
				知 思 態	●	●	●	●	●	0	
期 末 考 査	期末考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）			知 思 態	●	●	●	●	●	0	

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	発	書		
9	*Writing 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、困ったことを伝えたり、説明したり、控えめに依頼したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	Unit 1 Lesson 8 通信販売で返品依頼	困ったことを伝える・説明する、控えめに依頼する	知 思 態	●	●	○	○	○	3	・授業内活動の観察
	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、質問を交えながら依頼したり、提案したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、質問を交えながら依頼したり、提案したりできる。	Unit 1 Lesson 9 タクシーに乗る	依頼する、提案する	知 思 態	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察
10	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまな仮定をしたり、理由を加えながら反対したりできる。 *Writing 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまな仮定をしたり、理由を加えながら反対したりできる。	Unit 1 Lesson 10 友達とディスカッション	仮定する、反対する	知 思 態	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察
	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告をしたり、さまざまな視点で比較して説明したりできる。 *Writing 相手の知識や状況を理解し、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな	Unit 1 Lesson 11 比較結果のプレゼン	報告する、比較して説明する	知 思	●	●	○	○	○	6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト

主な報告をしたり、さまざまな視点で比較して説明したりできる。		プレゼンテーション	知 思 態	知 思 態	知 思 態	知 思 態	知 思 態	知 思 態	知 思 態	知 思 態	
中間 考 査	中間考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）									0	
11	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、詳細を説明したり、理由を述べたり、さまざまな仮定をしたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	Unit 1 Lesson 12 就きたい職業	説明する、理由を述べる、仮定する							3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりできる。	Unit 2 Lesson 1 クラスで ディベート ①	推論する、賛成・反対する							6	・授業内活動の観察
12	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、自説を主張したり、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりできる。	Unit 2 Lesson 2 クラスで ディベート ②	主張する、推論する、賛成・反対する							6	・授業内活動の観察 ・提出物
	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、自説を主張したり、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりできる。									0	
期 末 考 査	期末考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）									0	

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評 価 の 観 点	領域				評 価 項 目 数	主な評価規準 (評価方法等)
					聞	読	取	書		
1	*Speaking-Interaction 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、相手を説得しようとしていたりできる。	Unit 2 Lesson 3 クラスで ディベート ③	推論する、説得する	知 思 態					6	・授業内活動の観察
	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告をしたり、自分の望みを伝えたりできる。	Unit 2 Lesson 4 調査結果の プレゼン テーション	報告する、望む	知 思 態					6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
2	*Speaking-Presentation 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら詳細を説明したり、自説を主張したり、発表したりできる。	Unit 2 Lesson 5 社会問題に ついてのスピーチ	説明する、主張する、提案する	知 思 態					6	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト
	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら詳細を説明したり、自説を主張したり、発表したりできる。			知 思 態					0	
3	*Writing 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、仮定したり、論理的に推論したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。	Unit 2 Lesson 6 仮定して推 論する	仮定する、推論する	知 思 態					3	・授業内活動の観察 ・パフォーマンステスト ・提出物
期 末 考 査	期末考査（※ Unit毎に授業内でパフォーマンステストを行うため、実施しない。）			知 思 態					0	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識 ・ 技能			・意見交換や議論に必要な語彙や表現(賛成・反対、理由提示、確認など)を理解し、適切に用いている。 ・相手の発言に応じて適切に応答する技能を身に付けている。	・発表に必要な語彙や表現、構成(導入・展開・結論)を理解している。 ・聞き手に分かりやすく伝えるための発話技能(発音、強勢、間など)を身に付けている。	・論理的な文章を書くための語彙や文構造、パラグラフ構成を理解している。 ・基本的な文法や表現を適切に用いて書く技能を身に付けている。
思考 ・ 判断 ・ 表現			・自分の考えを整理し、相手の意見を踏まえて論理的にやり取りしている。 ・話題に応じて根拠を示しながら適切に意見を述べている。	・伝えたい内容を整理し、論理的な構成で発表している。 ・目的や聞き手に応じて内容や表現を工夫している。	・自分の考えや主張を明確にし、理由や具体例を挙げて論理的に書いている。 ・目的や読み手に応じて内容や構成を工夫している。
主体的に 学習に 取り組む 態度			・相手の発言を尊重しながら、積極的に対話に参加している。 ・よりよいコミュニケーションを目指して、やり取りを工夫しようとしている。	・自分の考えを積極的に伝えようとしている。 ・発表の改善に向けて振り返りを行い、よりよい表現を目指している。	・自分の考えを表現しようとして主体的に書く活動に取り組んでいる。 ・推敲や修正を行い、よりよい文章にしようとしている。

評価の方法	知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。
-------	-------------------------------------------------------

担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)	論理・表現Ⅱは、ペアワーク・グループアクティビティを通して、プレゼンテーションや課題提出が求められます。積極的に他の生徒たちと協働し、英語力を伸ばしていきましょう。
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

令和8年度 家庭科「家庭基礎」シラバス

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2単位
学級	2年次普通科 スポーツ科学科	教材・副教材	ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎（教育図書） 生活ハンドブック（第一学習社）		

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	生活の設計1	人は一生発達する これからのライフイベント 人生の課題を解決しよう	【知・技】・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 【思・判・表】・自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 ・生活設計について自分の考えと人の考えを比較して意見を言うことができる。 【主】・生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 ・人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート グループワーク
	5	第一章 青年期の自立と家族・家庭	自立への一歩を踏み出そう 家族・家庭で何？	【知・技】・青年期の5つの自立について理解している。 ・生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度について理解している。 【思・判・表】・生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート グループワーク
	6	B編 第1章 食生活と健康	私たちは何を食べている？	【知・技】・日常用いられる食品の栄養素的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。 【思・判・表】・自身の食生活について、人と比較して意見を言うことができる。 【主】・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。	ワークシート 実習 グループワーク
	7		今と未来の体をつくろう	【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。【思・判・表】・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート 実習 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	A編第3章 高齢期の生活と福祉	高齢期ってどういう時期？	<p>【知・技】・高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。 ・認知症の特徴や対応方法を理解している。</p> <p>【思・判・表】・高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。</p> <p>【主】・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	10	A編第4章 共生社会と福祉 B編第1章 食生活と健康	共生ってなんだろう？ 共に支え合う社会とは 今と未来の体を作ろう	<p>【知・技】・共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 ・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。</p> <p>【思・判・表】・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめたり発表したりすることができる。 ・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主】・地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支え合っていくか、考えようとしている。 ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている</p>	ワークシート グループワーク 実習
	11	C編第1章 消費生活と経済計画	何をどうやって買う？ 消費者問題と消費者を守る仕組みとは	<p>【知・技】・三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 ・契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。</p> <p>【思・判・表】・消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。</p>	ワークシート グループワーク
	12		社会経済につながる家計とは	<p>【知・技】・金融商品とその特徴について理解している。 【思・判・表】・将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。 【主】・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	C編第1章 消費生活と経済計画	何をどうやって買う？	<p>【知・技】・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。</p> <p>【思・判・表】・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。</p> <p>【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。</p>	ワークシート グループワーク
	2	B編第1章 食生活と健康	食品を選ぼう	<p>【知・技】・食品の表示の意味を理解している。</p> <p>【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。</p> <p>【主】・実生活で食品の表示を見て活用しようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	3		今と未来の体をつくろう	<p>【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。【思・判・表】・調理の安全や衛生について具体的に考えている。</p> <p>【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている</p>	ワークシート グループワーク 定期考査